

令和5年度 評価計画及び自己評価

(計画・中間・最終)

広南中学校区 校番 2 呉市立広南小学校

a 学校教育目標	<広南学園> 未来を創る 「誇りを持って故里を語り、受け継ぎ、発展を担う志と力を育てる教育の創造」	b 経営理念 ミッション・ビジョン	<ミッション> (学校の使命)	夢と志を持ち、 社会に貢献する人材を育成する	
			<ビジョン> (将来の学校像)	○深い学びの精神と感謝の気持ち、社会貢献への意欲をもつ児童生徒を育て、地域から信頼される学校を目指す。 ○地域文化の拠点として地域の活性化に貢献する学校を目指す。	
c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	「未来を創る ~Society5.0を生きる資質・能力の育成~」 ①主体的に考え、議論し、自己の生き方を考える道徳科の授業づくりを通して、主体的・対話的で深い学びを実現する。 ②努力向上のため、基礎・基本の学力及び活用力の定着、及び予習から生まれる問い合わせや振り返りを継続する。 ③「Society5.0を生きる」7つの資質・能力を育むための教育活動の充実 ④自己肯定感を高めるための学級集団づくりと道徳教育の推進 ⑤健やかでたくましく生きるための健康な体力と生活リズムづくり(特に、「メディア・コントロール」) ⑥安心・安全な生活のための安全教育の充実及び防災教育の推進 ⑦職務改善の推進				
育成を目指す資質・能力	挑戦・探究 責任・使命 感謝・貢献 協力・協働 知識・技能 情報収集・判断 思考・表現				

評価計画(中期経営目標を設定してから 1・②・3 年目)					自己評価						
重点	d 中期 (3年間) 経営目標	e 短期 (今年度) 経営目標	f 目標達成のための方策 (こんなことをして達成します)	g 指標 (効果を見るとの目安)	h 目標 値	9月			1月		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
**	貫 9年間を通して、確かな学力を育成する	貫 子供の問い合わせを生かした「考える授業づくり」 「主体的・対話的で深い学び」を充実させるための授業改善	<ul style="list-style-type: none"> 予習することで、課題意識をもたせ、主体的に学ぶ意欲を育てる。 課題発見・解決学習を推進し、次時へ生きる振り返りを行う。 主体的に考え、議論し、自己の生き方を考える道徳科の授業づくりを通して、主体的・対話的で深い学びを創造する。 必要な情報を取り出し、読み取り、表現する力を育成する。(情報活用能力の育成) 	<ul style="list-style-type: none"> 算数科において、予習から課題意識をもつことができた児童の割合 算数科において、予習から課題意識をもつことができた児童の割合(教師の見取り) 「道徳科の授業で、自分の考えが深まった」の肯定的評価の割合 算数の活用問題の正答率60%以上の児童の割合(単元ごと) 	80 80 80 90						
**	貫 礼節と挑戦心を身につけ、健やかでたくましい心と体を育成する	基本的生活習慣の定着 体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 目標の振り返りを活用した指導を徹底する。 「早寝・早起き・朝ご飯・メディアコントロール」の生活改善を図る。 体力テストを計画的に実施し、結果を分析して授業改善を図ることで、運動能力の向上を図る。 体育科の授業に柔軟運動を取り入れ、年間を通じて計画的に運動能力の向上を図る。 「くれチャレンジマッチ」の取組を活用して体力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 「5つの合言葉」の項目のA評定以上達成の児童の割合 「生活リズムカード」の項目の目標達成した児童の割合 「体力テスト」の重点3種目(50m走、20mシャトルラン、長座体前屈)の記録が全国又は県平均を上回る児童の割合 「くれチャレンジマッチで5位以内の学年の割合 	90 90 70 100						
*	貫 自己有用感を高め、活力を生み出す学校をつくる	異学年交流や地域との交流活動を通じた資質・能力の育成 貫 児童の「自分の命は自分で守る」力の育成	<ul style="list-style-type: none"> 異学年交流や地域との活動内容を吟味し、身に付けさせたい資質・能力を育む。 活動前と後の「目指す姿」と「振り返り」を充実させる。 「7・9広南防災の日」「呉市学校防災週間」について、家庭・地域や中学校と連携して実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと「ひろみみなみ」への感謝の気持ちに関するアンケート(児童用)の肯定的評価の割合 「将来の夢や目標をもっている」の肯定的評価の割合 「生活と学習」アンケート(児童用)【防災】の肯定的評価の割合 家庭を巻き込んだ防災教育を行ったとする学級の割合 	90 90 95 100						
業務改善	貫 働き方改革を推進する	貫 長時間勤務の縮減に向けた業務改善	<ul style="list-style-type: none"> 入校時に退校時刻を申告し、タイムマネジメント力を向上させる。 会議終了時刻を明確にし、会議内容や進め方を工夫する。 退校30分前に教室を閉め、全職員退校時刻(月・火・木・金曜日18時30分、水曜日17時30分)を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童と向き合う時間が確保されていると感じる教職員の割合 時間外在校等時間が月45時間以内の教職員の割合 	90 100						

[k:評価]
 A: 100≤(目標達成)
 B: 80≤(ほぼ達成)<100
 C: 60≤(もう少し)<80
 D: (できていない)<60

